

No.2589改

蓼科山から池と峰をつないで 北八ヶ岳 蓼科山～麦草峠

実施日 2012年9月28日(金)～29日(土)
天 候 28日小雨/曇り 29日晴れ
リーダー 涌井 良明
参加者 涌井良明、渋谷賢寿、渋谷京子、
遠井謙策、小林千恵 計5名
費 用 JR10,720円(新宿起算)、タクシー1,100
円、バス1,400円、テン場代500円
合 計 13,720円
タイム 9/28 蓼科山7合目P(10:10～10:25)
2100m付近(11:10～11:15)將軍平
(12:17～12:37昼食)蓼科山(13:11～1
3:20)將軍平(13:48～14:00)前掛分
岐(14:14)大河原峠(15:20～15:30)
双子山(16:00～16:10)双子池ヒュッテ
(16:50)双子池キャンプ場(17:00)
9/29 双子池キャンプ場(6:30)亀甲
池(7:35)2150m付近(8:03～8:10)
横岳北峰(9:25～9:35)南峰(9:40～
9:45)北横ヒュッテ(10:00～10:05)縞
枯山荘(11:03～11:05)雨池峠(11:
15～11:20)茶臼山(13:04)茶臼山
天望台(13:10～13:30軽食)大石
峠(14:30～14:35)麦草峠(15:00～1
5:20バス)茅野駅(16:20～17:50)

9/28 台風接近予報で洞沢・北穂高岳
が中止になったが台風が予想より東側を
通過のため、日程を短くして行けるメン
バーで代替え山行として実施した。

茅野からのタクシーは青空でラッキーと思
ったものの向かう蓼科山は山頂付近はガス
がしつこくまとわりついている。

蓼科山七合目鳥居でタクシーを降りる
と明るい霧雨が舞っている。
しっとりとした
(当たり前か)
整備された道を
緩く登る、岩が多
く見られる天狗
の露地の標柱を過ぎると傾斜も急になっ
てくる。

所々に秋の色付きも見られる様になっ



てくる、時々小雨に見舞われながら急登
を切り切って將軍平の蓼科山荘に飛び出
す。山頂はガスで見えない、軽く昼食を
摂って空身で山頂へ向かう。直ぐに岩ゴ
ロの急登になる、たまにガスが流れ薄く
周囲が透けるがしつこいガスが漂ってい
る。前方が白だけになってくると山頂の
端の山頂小屋に出る、脇を抜け平坦で岩



だらけの山頂
部の最高点に
向かう。一等
三角点と標柱
の山頂はガス
の中で周囲の
展望は全く無
い。やや風も

あり、写真を撮って戻ることにする。

岩の急下降を慎重に下り、將軍平で一
休み、先の長い後半の歩きが再開する。

しばらく緩やか道が続く、岩が多く転
がっている下りになるが、厭な感じでは
なくシラビソや笹
が茂る北八ヶ岳の雰
囲気のある下りだ。

傾斜が緩くなり
前方にまーるい双
子山が見えると大
河原峠になる、りっぱな道路と舗装され
た駐車場もあり、前回(と言っても20年位
も前)家族で乗付けた時とは違う雰囲気



である。自販機で
水分補給のメン
バーもいるがこれ
もこの山域の良
いところか？

峠から双子山の登
りに入る、今度は

森の道ではなく直ぐに辺りは疎林と草原
状になり、曇空だが雲の盛上りと薄く山
のラインも見えている。背後の蓼科山頂
のガスも無くなりかけている。ガスの流
れる山並、特に好天に向かう時は山が歓
迎してくれているような表情に思え好き
な瞬間である。山との一期一会を感じる



時でもある。緩い登りのまま双子山に立ち誰もいない静かな山頂で見せ始めた展望も楽しめた。泊地の双子

池までは下りを残すのみである。平坦な頂稜部を過ぎて下りを一気に歩き、双子池ヒュッテに出る。



小屋でテン場代とビールを仕込み、飲み水に雄池の水を汲んで(池の水と思うなこれ美味い水である)雌池のテント場に向かう。小屋から数分で雌池の畔の指定地で寝床となる二張のテントを設営する。平日オフシーズンで勿論我々だけなので、小屋



で聞いたベストポジションに張った。暗くなり始めたなかで乾杯とそれぞれに持参の夕食を済ませ、食後はメ

テントに集まり、二次会となった。就寝前のテントのダベリはテント山行の楽しみで、この語らいの中から随分と山の知識や技術的なことを教えられ、吸収できたことが今も山やの端くれでいられる源でもある。

時折梢に絡まった水滴のパラパラを聞きつつ就寝…何回か目覚めるが、パラパラとゲー!ガー!を子守唄代わりに朝を待った。

9/29 樹林下の池畔は明るくなるのがやや遅い感じだが、明け方は星も見え、天



候も良さそうではっとする、雨中の撤収作業は悲惨だからである。起床いつも様にシュラフをクルクルとしようと

するが袋が??…靴の中に押し込んだのをすっかり忘れていた。

明るくなった頃、思い思い持参の朝食を済ませ撤収して出発になった。

小屋まで戻り、空缶返却と水を補給、亀甲池へキャンプ場を抜け池を回り込み、やや荒れた道の登りになる。倒木や挟れた道を辿る、昨日までの雨で濡れた空気感だが暑さが無いのが助かる。登り切って尾根を乗越すように下りになって亀甲池が見えてくる、夏の渇水期の名残か水の少ない池は見栄えがしない。



池を半周して横岳への道に入る、今日の登りのメインイベントだけあり、やがて急

登のジグザクになる、雨に打たれて更に美しさに磨きをかけた北八ツ名物の苔に



慰められながら一步一步と登る、行き交う人もなく、幽玄の中に身を置いている気分させてくれる様な道だ。

傾斜が一旦収まった後しばらく登ると尾根上の山頂直下に出る。展望が一気に開けるが風も受ける、そこから一投足で横

岳北峰だった。頭上はすっかり青空も広がり、北ア始め中央ア・南ア、御嶽などの遠望が素晴らしい。勿論南八ツの峰々もニ



ョキニョキと頭をもたげている。



土曜日好天で南峰方面から続々湧いてくる様に人も増えてくる。展望を楽しみ、写真を撮って南峰へ。直ぐ

に着いてしまうが気持ち良さしばしのんびりしてから、坪庭へ向かって下る、道はよく整備されているがとにかく登りの人が多くしばしば行き違い休憩を強いられながら横岳ヒュッテを過ぎて、岩の多い山腹を下ると観光地でもある坪庭に入る、遊歩道を進みロープウェイ分岐で早退するメンバーと別れ、縞枯山荘へ木道に行く。相変わらず登山者に親切ではなかった縞枯山荘を過ぎ、雨池峠に出る。多かった人も減りまた静かな北八ツになった。



縞枯山まではほぼ直線状に山頂目指して登る、かなりの急登だが、時折見せる鮮やかな色付きに呆けているうちに急登が



終わった所が山頂だった。展望もなく変哲のない場所だが、もったいぶらずに到着できるところは好感が持て

る頂だ(^_^)

さて、残す茶臼山に向かおう。時々展望も開ける頂稜の道を道を行く。三角点ピークへの分岐か



ら右へ下りになる、鞍部で五辻への分岐を過ぎて茶臼山へ登る。樹林の静かな茶臼山に出るが、天

候も良いので天望台へ行ってみることにする。数分で前方が開けると…そう、天を望む台に出ます。蓼科山から南八ツの眺め南アの眺望、モチロン北アや車山、美

ヶ原なども。軽く昼食とコーヒーで休憩、気温も寒いほどではなく天候の



お蔭もあって素敵なひと時を天望台で過ごして、下ることにする。

樹林の山頂に戻り、大石峠へ下る道に入る。シラビソの中、岩の転がる道をゆっくりと下る。途中小ピークの中小場辺りから振り返ると茶臼山、縞枯山がま〜る可愛らしい、縞枯山は以前より縞模様



で無くなった様だ。

下り切って大石峠で五辻からの道が合流している。麦草峠まではもう僅かになった。

た。一息ついてあとは緩い下りを辿ると八ヶ岳を横断する R299の麦草峠に出た。道路を渡って麦草ヒュッテで土日限定の15時20分発のバスが既に待機中であつた。

ゆっくりと着替えは出来なかったが、タイミングはピッタリでバスの乗客になり茅野へ。反省会ピッタリ(@_@;)の電車で駅前でか〜るく反省会も出来て、更に車中で二次会も出来てアッという間に東京へ。



急な代替え企画にも拘わらず参加いただいたメンバーに感謝です。テント泊山行 ワイルドでオモシロイダロー！！

ナンチャッテ、また行きたいですね。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・遠井 謙策)